

## 2012 年度前期「教養ゼミナール」受講生アンケート結果

2012 年度前期に開講した「教養ゼミナール」各クラスの最終授業にて、受講生にアンケートを実施いたしました。アンケートの集計・分析結果を報告します。

### 1. 実施クラス数・回答者数・アンケート形式

- ・2012 年度 前期開講「教養ゼミナール」13 クラス中、12 クラスで実施。
- ・アンケート実施 12 クラス 受講登録者数 272 名中、221 名回答（回答率 81.0%）
- ・無記名での実施（学部・回生は記入）
- ・全 4 問中、設問①～③は選択形式、設問④は自由記述形式で回答する設問で実施。設問④は自由記述形式で実施したので、似たような意見をまとめてカウントし、集計を行った。

設問①「教養ゼミナール」をどこで知りましたか？

設問②「教養ゼミナール」をなぜ受講しようと思いましたか？

設問③「教養ゼミナール」を受講したことで「身についた」「成長した」と感じる部分がありましたら教えてください

設問④ 学部や回生が異なる学生が集まった「教養ゼミナール」でしたが、他の授業と比べてどのような違いや感想を持たれましたか？その他、授業の感想等自由にご記入下さい。

### 2. アンケート結果

設問①「教養ゼミナール」をどこで知りましたか？（当てはまるものに○ 複数回答可）

回答	回答数	回答率
オンラインシラバス	101	33%
時間割表	58	19%
（友人などからの） 口コミ	44	14%
履修要項・登録要項	44	14%
教養ゼミナールHP	30	10%
チラシ（掲示）	23	8%
WEB 掲示板(CAMPUSWEB)	3	1%
その他（オリターの説明会）	3	1%

- ・1回生のみ限定して回答を分析すると、1位：オンラインシラバス（36%）、2位：履修要項・登録要項（26%）、3位：時間割表（16%）となり、履修要項・登録要項を見て「教養ゼミナール」を知る1回生が多いことが伺える。特に受講登録要項作成に力を入れている国際関係学部では「登録要項」と回答する1回生が多かった。
- ・2011年度後期から引き続きの傾向であるが「ロコミ」と回答した学生が多い。今回は受講希望者が特に多かったクラスに「ロコミ」と回答した学生が集中する傾向が見られた。
- ・2012年度は2011年度に初めて実施した当アンケート結果を活かして広報を強化した結果、受講希望者数が大幅に増加した。

**設問②「教養ゼミナール」をなぜ受講しようと思いましたか？（当てはまるものに○複数回答可）**

回答	回答数	回答率
クラステーマに興味を持ったので	126	35%
授業内容に興味を持ったので	106	29%
教養ゼミナールのコンセプト※ に興味を持ったので	58	16%
教養科目の単位取得のため	48	13%
担当教員を知っていたので	21	6%
その他	2	1%

※学部・回生が異なる学生が集まり、学生が主体となって学ぶ小集団の教養科目

- ・「クラステーマ」「授業内容」に惹かれて受講を希望する学生が圧倒的に多かった。「クラステーマ」「シラバス」の表現が、学生が興味を抱く表現・授業の魅力が伝わる表現となっているかという点が学生の授業選択のキーポイントになっていることが伺える。
- ・教養ゼミのコンセプトに期待して受講する学生も多い。学部・回生が異なる学生が集まり、小集団で学びあう「教養ゼミナール」ならではの特徴を活かすためにも、講義中心の授業形式ではなく、ディスカッションやグループワーク、プレゼンテーションなどの“学生主体の学び”“学生同士の学びあい”を中心とした授業実践とすることを、各クラスの担当教員が意識して取り組むことが重要である。

**設問③「教養ゼミナール」を受講したことで「身についた」「成長した」と感じる部分がありましたら教えてください（当てはまるものに○。複数回答可）**

回答	回答数	回答率
幅広い知識を身につける	127	16%
多様な物の見方・考え方	115	15%
自らの考えを持つ	96	12%
グループでの協同作業のやり方	74	10%
コミュニケーションの取り方	79	10%
自ら学ぶ意識や学ぶ姿勢	64	8%
プレゼンテーション力	65	8%
クラステーマに関わる専門知識	55	7%
調べる力	40	5%
論理的に考える力	32	4%
論文・レポートを書く力	24	3%
その他	0	0%
どの項目にも○をつけなかった	0	0%

- ・アンケート結果から概ね「教養ゼミナール」の到達目標が達成されていることが伺える。引き続き各クラスで学生が主体となる授業を実施していただき、「教養ゼミナール」の到達目標を意識した授業運営をしていただくことを科目担当者会議等を通じて共有していく。

**【参考】教養ゼミナール到達目標**

- ①自分の専門を超えて、複眼的で多面的なものごとを理解し、考えることができる。
- ②専門を越えた学生同士で共同作業を行うことにより、自らの専門への自覚を高めるとともに他の専門の特色と意義を理解する。
- ③主体的に学ぶことと共に学ぶことの意義と方法を身につける。

**設問④学部や回生が異なる学生が集まった「教養ゼミナール」でしたが、他の授業と比べてどのような違いや感想を持たれましたか？その他、授業の感想等自由にご記入下さい。（自由記述）**

※自由記述のため、似た内容のコメントをまとめてカウントした。

コメント	コメント数
様々な学部・回生の考えを知ることができ、 視野が広がった・学びが深まった・新鮮だった	61
少人数で密度の高い授業だった 先生との距離の近い授業でよかった	42

プレゼンテーション・グループワークの機会が多く、学生が主体となる学びができてよかった	30
意識の高いメンバーが多く刺激を受けた クラスメイトから刺激を受けて自身の学ぶ姿勢が変わった	29
普段とは違う学生と仲良くなれた・学べたことがよかった	18
上回生（下回生）と学べてとても勉強になった	18
課題が多く、きつかったがやりがいがあった	8
在学中1度きりの受講というのは勿体無い（もっと受講したい）	8
自学部の科目には無い自分の興味あるテーマを深く学べてよかった	5
先生がおもしろかった	5
いい授業だった	5
教養ゼミをもっと広報すべき（知らない学生多い）	3
Face book を利用した授業外学習が良かった	1
グループワークをもっと入れて欲しかった 意見交換の機会が少なくて残念 全然発言できなかった	4
最初は意識が高いが後半ダレてしまった	1
普通の授業と違い難しく感じた	1
授業の延長が多いのは迷惑だった	1
普通のゼミと変わらない	1
コメント無し	41

※マイナスの意見に色づけ

- ・学部・回生が異なる学生が集まる「教養ゼミナール」の狙いを十分に反映した結果となっている。1・2回生のコメントに「上回生と学ぶ機会は初めてでとても勉強になった（刺激を受けた）」という感想が多かったことから、回生横断型の科目のメリットが発揮できていたことが伺える。
- ・「少人数クラスで学生が主体的に学ぶ授業」へのニーズが高いことが伺える。
- ・2011年度後期のアンケートに少数ながら見られた「内容が専門的過ぎてついていけなかった」、「クラスに馴染めなかった」という意見は今回見られなかった。2011年度後期のアンケート結果を担当教員間で共有し、学部・回生が異なる学生が集まるゼミであることを前提に、どの学部・回生の学生も参加できる授業運営をしていただくよう注意いただいたこと、受講生間のアイスブレイクの時間を授業序盤に十分とっていただくこと、

の2点を工夫していただいたことで解消できたのではないかと考える。

- ・少数ながら「受講者間の意見交換やグループワーク」に期待して教養ゼミを受講した学生から、「グループワークが少なくて残念だった」との意見が寄せられた。担当教員の講義やアドバイスの時間、受講生がワークを行う時間、受講生が発表（プレゼン）する時間の3つをバランスよく運営することが重要である。

#### **その他（アンケートの取扱い・実施方法について）**

- ・今回の「アンケート結果」と前期クラス担当教員に作成いただいた「授業実践報告書」を併せて後期クラスの担当者全員へ送付し、後期の授業運営の参考資料としていただく。

以上